

## 国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成30年度第9回）議事概要

日 時：平成30年12月21日（金）16:00～17:00

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第1会議室

出席者：中釜斉理事長、南砂理事、児玉安司理事、松本洋一郎理事、間野博行理事、北川雄光理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：なし

### I. 前回（平成30年度第8回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・議事録署名人を北川理事と増田監事に依頼。

### II. 審議事項

#### 1. 柏キャンパス将来構想について

資料に沿って説明され、審議された。

##### 【主な意見等】

- ・入院期間を減らしていくプランとしてよいのではないかと。柏の葉地域ではホテルは満員になっていることが多く、遠方から来た方が泊まる場所を紹介できなくて困ることがあるなら、こういう場所を持つことは有用。病院経営の方向としても時宜を得たものだと理解する。
- ・素晴らしい構想で期待が持てる。ただ、これだけの土地があるので、ホテルと病院のエクステンションだけでなく、病院の外部にあるが必要としているいろいろな機能を備える総合施設にできれば理想ではないかと思う。貸付けだけでなく、例えばPFIや不動産ファイナンスと組み合わせ等、いろいろな方法を検討してみてもどうか。

#### 2. 事務部門改革について

資料に沿って説明され、審議された。

##### 【主な意見等】

- ・非常にいい方向に先行投資をしていると考える。事務部門を強化することによって、現場が効率的に動くようになることが期待できる。一方で、評価はなかなか難しい。この改革によって、臨床の時間が取れるようになって効率的に動けるようになるとして、その効果をどう検証するか。
- ・全体の方向性としては素晴らしい計画。基本的な方向性として、専任の事務職員で組織を強化するほうが得策と思う。医師事務作業補助者の増員は、働き方改革では重点になると考えている。

#### 3. NCの今後の在り方検討会について

資料に沿って説明され、審議された。

**【主な意見等】**

- ・研究所と病院の関係が、形態によっては随分ややこしい感じになりそうな気がする。
- ・D案は、NCをどうするかについて、6つの研究機能と、6つの病院機能があるということ为前提にしており、一般論として対処するのは難しい話ではないかと思う。NCCとしては、今、うまくいっているシナジー効果を更に発展させ最適化していくという方向性で提案し、対応していくべきではないか。

**Ⅲ. 報告事項**

1. 遺族調査（がん患者が亡くなる前に利用した医療や療養生活の実態）

資料に沿って報告された。

**【主な意見等】**

- ・満足度結果については低いように感じた。他の調査や外国の調査と比較して、満足度がこの数字であることについて何かコメントが必要ではないか。

2. 政府の会議の状況等

資料に沿って報告された。

3. 広報実績

資料に沿って報告された。

4. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

5. 平成30年度決算見込み等

資料に沿って報告された。